

製品紹介 New Products

22GHz帯156Mbps無線エントランス装置 22GHz 156Mbps Digital Radio Equipment

1. 概要

22GHz帯156Mbps無線エントランス装置は、モバイルバックホールの無線伝送路構築に適した大容量マイクロ波無線装置である。ネットワークのIP化に対応し、小型・軽量な構造により機動的かつ経済的な無線回線を構築することができる。災害発生時の臨時回線としても有用な装置である。

2. 特長

(1) IP化への移行を考慮したインタフェース

STM-1またはEthernetの光インタフェースを実装することができる。STM-1では標準的な局内インタフェース (I-1) のほか、最長40kmの光ファイバを接続できる局間インタフェース (L-1.1)、Ethernetでは1000BASE-LXと1000BASE-SXをボード交換にて選択可能である。

(2) 基地局装置との距離を柔軟に設定可能

無線高周波部から光インタフェース部までの全ての回路を屋外装置に実装したオールアウトドア構成であり、光ファイバを直接屋外装置に接続できるため、基地局装置との距離を柔軟に設定することができる。

STM-1局間インタフェースを使用した場合には、局舎を要せずに長距離光ファイバのエクステンションが可能である。

(3) 優れた施工性

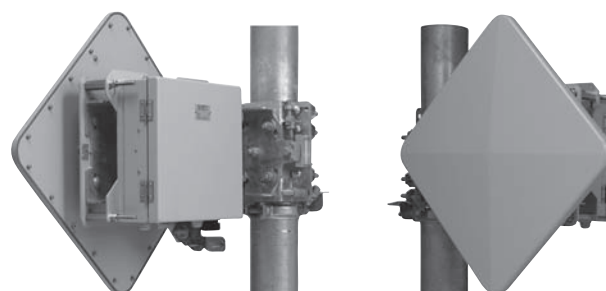
小型・軽量化により、設置の省スペース化および基礎部の簡素化が図れ、迅速かつ柔軟に無線回線を構築することができる。

(4) 給電系の伝送損失を最小限

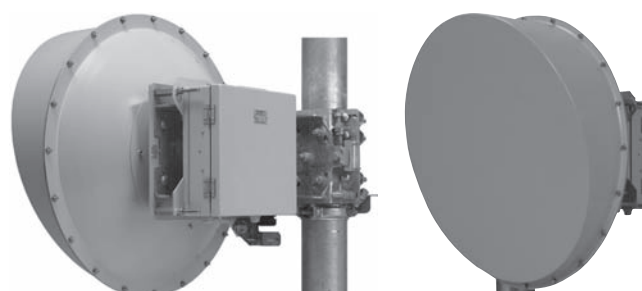
アンテナに屋外装置を直結することにより、給電系の伝送損失を最小限に抑えている。

(5) 平面アンテナの採用

アンテナはカセグレンアンテナ (φ60cm) のほか、景観重視のニーズに応えた平面アンテナ (◇45cm) を用意している。



屋外装置と平面アンテナ (◇45cm)
Outdoor Unit & Planar antenna (◇45cm)



屋外装置とカセグレンアンテナ (φ60cm)
Outdoor Unit & Cassegrain antenna (φ60cm)

3. 仕様

装置主要諸元

周波数帯	22GHz帯
通信方式	FDD
伝送容量	155.52Mbps
インタフェース	STM-1 (I-1/L-1.1) 1000BASE-SX/LX
変調方式	64QAM
占有周波数帯幅	36.5MHz以下
送信出力	+18dBm
雑音指数	8dB以下
入力電圧	DC-36~-57V
消費電力	40W以下
ODU容積・質量	8.5 l・9.5kg
アンテナ利得	
平面	◇45cm 36.2dBi @22.8GHz
カセグレン	φ60cm 40.3dBi @22.8GHz

お問合せ先

通信インフラ営業部 通信インフラ営業グループ
電話 03-6832-1743